

# 災害に備えましょう！

日頃からの備えが大切です。

## 自助

<災害時の対応は、自助が基本です>

災害時には被災者自身が生き延びるための努力を行う「自助」が基本です。

被災した住民同士による「共助」や行政による「公助」には限界があります。

特に首都圏のような人口密集地域では共助や公助、支援物資も十分行き渡らないかもしれません。これは、同行ペットに関してであればなおさらです。

少なくとも表面に記載されているものは準備しておきましょう。



## しつけ

<速やかに避難し、慣れない避難生活で迷惑にならないために>

1. マテ・オスワリなどの基本的なしつけ
2. ケージの中に入ることを嫌がらない
3. 不必要に吠えない
4. 色々なフードを食べること（特定のものばかりが手に入るとは限りません）



## ケージに慣らそう

■ 普段から休める場所として開放しておく

■ 動物が寝そべることが出来て、広すぎず、狭すぎない大きさ

■ ケージの中でおやつやフードをあげ、良い印象をもたせる

■ ケージの中でリラックスしているのを見つけたらほめる



■ 閉じ込めるなど、悪い印象を与えないようにする

■ 安心できる場所なので、災害の際に動物が避難することもある

■ 初めての避難所でも、ケージに慣れているとストレスが少ない

■ 柔らかい素材より固い材質の方が安全度は高い

## 知識

<いざという時のために、事前に確認しましょう>

1. 最寄りの避難所・避難場所を確認しておきましょう。
2. 災害時の家族間の連絡体制を決めておきましょう。
3. 発災時は避難所に行くだけが避難ではありません。  
状況に応じ、安全が確認できれば自宅に留まるのも選択肢の一つです。
4. ハザードマップ・地域防災計画・災害時の交通規制情報も確認しましょう。



## 避難所での注意点

<周りの人への配慮>

避難所でのペットの受け入れの可否は、各避難所運営委員会の判断になります。

避難所には様々な人（動物の嫌いな人、アレルギーを持つ人、不用意に手を出す子供など）が集まります。決められた場所で飼うことはもちろん、普段よりも周りに配慮することが求められます。避難所の人たちと上手にコミュニケーションを図り、**ペットが受け入れられやすい環境を作ることが大切**です。



災害時、ペットの命を守れるのは飼い主だけです！

環境省ホームページ  
「ペットの災害対策」は  
こちらをご覧ください。

